

HeARTful Concert

吹奏楽 × ことばの HeARTful Concert 2018

ハートフルコンサート

入場
無料

平成30年 6月3日(日)

開場 13:00 開演 13:30

静岡市清水文化会館マリナート大ホール
(JR清水駅東口)

(〒424-0823 静岡市清水区島崎町214)

TEL:054-353-8885 E-mail:info@marinart.jp



◆動読「はあ、ごせっぺー」奥野晃士(動読)
～ミッション・ゲルニカ 静岡大空襲体験脚本集より～

Concert

演奏/静岡吹奏楽団 指揮/置塩孝裕

◆音楽物語「ともだちの島」

原作/澄志田瓢策 脚色/都築はじめ

作曲/杉浦邦弘 朗読/四季妙雅(劇団らせん劇場)

◆平和への行列 戸田顕 作曲

◆序曲祝典 F. エリクソン 作曲

◆ライオン・キング・メドレー 森田一浩 編曲 ほが

主催 静岡県人権・地域改善推進会

共催 静岡県人権啓発センター 静岡吹奏楽団

協力 静岡県演劇協会

後援 静岡県文化協会 静岡県教育委員会 静岡市 静岡市文化振興財団

静岡新聞社・静岡放送 朝日新聞静岡総局 読売新聞静岡支局

中日新聞東海本社 毎日新聞社 日本経済新聞社静岡支局 テレビ静岡

静岡朝日テレビ 静岡第一テレビ K-MIX

問合せ/静岡県人権・地域改善推進会 (会長 天野 一)

静岡市葵区馬場町9番 田辺ビル3階 E-mail: jimchikai@amail.plala.or.jp

TEL: 054-260-5246 FAX: 054-260-5247

(キリトリ線)
※切取ってお持ちください。一枚で各名までご入場いただけます。
※補席の場合入場をお断りする場合がございます。

コンサート
入場無料
2018



静岡県人権・地域改善推進会は人権が尊重され、差別のない明るい社会の実現を期して発足し、今年21年目を迎えます。女性、子ども、高齢者、障がい者、同和、外国人、感染症患者、犯罪被害者その他多くの人権問題の解消と人権を暮らしの中の一つの文化として築き上げていく社会の実現をめざして努力を重ねております。

私たちがよりよい社会をめざし、また個人が自己の生き方や価値観の多様性を求めていけば、様々な人権課題に遭遇していきます。しかしながら、個人の様々な生き方が容認される社会こそが、豊かな社会の指針でもあるのです。

難しく考えがちな人権を音楽とことばを通して身近なものとして感じていただきたいと思えます。そして、誰もが皆、幸せに暮らすためには、人権の視点から普段の生活を見ていくことが、とても大切だということをご理解いただけることを心から願っております。

静岡県人権・地域改善推進会会長 天野 一

静岡吹奏楽団

静岡吹奏楽団は、2011年に誕生した新鋭吹奏楽団。

特定の高校や大学のOBバンドという形式ではなく、学生から社会人まで幅広い世代で構成された地域密着型の市民吹奏楽団として活動を行っている。

「地域文化の振興と、音楽のある豊かな街づくりへの貢献」「地域を担う子どもたちの豊かな情操を育み、彼らの健全育成に寄与する」ことを目的に 静岡市民文化会館、静岡音楽館AOI、グランシップ、清水文化会館マリナート、しずぎんホール・ユーフォニア、サールナートホールなど静岡市内のコンサートホールで演奏を行うほか、式典演奏、小学校や児童館、病院、観光施設でのミニコンサートなど、数々の公演を行い活動の場を広げている。

コンサートでは、吹奏楽オリジナル曲やマーチ、クラシック、ジャズ、ポピュラー、映画音楽、ミュージカルナンバーなど年齢を問わず楽しめる幅広いジャンルの楽曲を演奏し、そのサウンドは多くの聴衆の心を掴んでいる。現在、団員数は約70名。市民に愛される魅力ある吹奏楽団として精力的に演奏活動を行っている。



置塩 孝裕(おしお たかひろ)・指揮

静岡県島田市出身。

島田市立島田第二中学校 吹奏楽部でチューバを始め、東海大学第一高等学校を経て、武蔵野音楽大学を卒業。

チューバを多戸 幾久三、榊原 勝、その他に師事。その後、東京ディズニーランド TL ブラス、公立中学校教諭、1992～2003年静岡県警察音楽隊員。

現在は、チューバ奏者として活躍する傍ら、スクールバンドや市民吹奏楽団の指導者として静岡県内を中心に精力的に活動を続けている。

2011年から静岡吹奏楽団を指導。緻密な理論と豊かな感性で音楽を創り上げ、躍動感に満ちた熱い指導を繰り広げる。



奥野 晃士(おくの あきひと)

2000年より SPAC—静岡県舞台芸術センターで活動開始。主な出演作品に、鈴木忠志演出『イワノフ』(イワノフ役)、宮城聡演出『夜叉ヶ池』(山沢学園役)、『寿歌』(ゲサク役) など。また Noism 金森穰演出振付の劇的舞踊『カルメン』(旅の学者・メリメ役) や、Noism O (ゼロ) への参加で、舞踊と演劇のジャンルを超えた新たな取り組みへの出演でも注目を集める。さらに「リーディング・カフェ」「ふじのくに歴史演談」「動読(どうどく)」「舞語り」など、自ら立案した新企画も好評。'14年よりスイスに移住し、舞台演出、出演の他、公立大学の演劇講師としても高く評価される。'15年より「街援隊(がいえんたい) アート・ムーブ」の活動を始動。街と演劇の結びつきについて新たな境地を目指している。